

中期経営計画書

作成年月日:平成26年12月25日

法人名:むつ湾フェリー株式会社

法人の設立目的

「観光」と「津軽半島と下北半島の交流」の促進という設立目的のもとに、楽しいフェリーの旅の提供を通じて、青森県の観光産業に寄与すること。

○事業内容

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 海上運送事業 | 4. 自動車運送事業 |
| 2. 港湾運送事業 | 5. 船舶代理店業並びに損害保険代理店業 |
| 3. 倉庫業 | 6. 前各号に附帯する事業 |

経営目標

- ① 累積赤字の解消及び短期・長期借入金の継続的返済を最重要課題とし、まずは平成27年度以降の単年度黒字化を目指して、その後の経営安定化に向けて取り組む。
- ② 平成28年の北海道新幹線開業を見据え、新たな需要開拓に積極的に取り組むとともに、津軽・下北両半島の交流促進及び両地域の経済に貢献し得る企業を目指す。

中期経営計画の基本方針

早期の単年度黒字化を目標に、①営業活動の強化及び②内部管理の徹底を基本方針として、様々な施策を展開する。

①営業活動の強化

各種商談会への積極的参加など旅行エージェントへの営業を強化するほか、インターネットやSNSメディアを利用した情報発信の強化に努める。

②内部管理の徹底

主要経費である人件費、船舶修繕費のほか、一般管理費の徹底した削減及び抑制を図るとともに、顧客満足度向上のため、接客・サービスを向上させる。

中期経営計画における具体的目標

- 1 団体客の増加
- 2 個人客の増加
- 3 県内児童・生徒の船舶体験学習の利用増
- 4 県内外への情報発信強化

目標に係る具体的取組及び目標値

前記目標1に係る具体的取組

- ・県外旅行エージェントへの営業強化、各種商談会への積極的参加
- ・「全国宣伝販売促進会議(H27年開催)」での営業、2便・3便利用のコース提案

指標(目標値)

- ・旅行エージェント売上高 単位:千円

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
62,477	63,937	65,953	67,229	68,567
実績 <input type="text" value="62,477"/>	実績 <input type="text" value="63,937"/>	実績 <input type="text" value="65,953"/>	実績 <input type="text" value="67,229"/>	実績 <input type="text" value="68,567"/>

前記目標2に係る具体的取組

- ・青森県サイクルツーリズム推進協議会との連携(むつ湾フェリーを使ったコース設定など)

指標(目標値)

- ・個人利用者数 単位:人

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
7,830	7,910	7,970	8,030	8,090
実績 <input type="text" value="7,830"/>	実績 <input type="text" value="7,910"/>	実績 <input type="text" value="7,970"/>	実績 <input type="text" value="8,030"/>	実績 <input type="text" value="8,090"/>

前記目標3に係る具体的取組

- ・県内小中学校への「船舶体験学習支援事業」活用働きかけ
- ・「船舶体験学習支援事業」の対象拡充

指標(目標値)

- ・船舶体験学習支援事業活用団体数 単位:団体数

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
4	4	6	8	10
実績 <input type="text" value="4"/>	実績 <input type="text" value="4"/>	実績 <input type="text" value="6"/>	実績 <input type="text" value="8"/>	実績 <input type="text" value="10"/>

前記目標4に係る具体的取組

- ・マスメディアを利用した情報発信強化
- ・フェイスブックを利用した情報発信

指標(目標値)

- ・フェイスブックの情報発信(更新)回数 単位:回

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
0	51	73	122	183
実績 <input type="text" value="4"/>	実績 <input type="text" value="51"/>	実績 <input type="text" value="73"/>	実績 <input type="text" value="122"/>	実績 <input type="text" value="183"/>

定数管理(役・職員数)		(単位:人/上段:計画、下段:実績)					
項目		25年度(実績)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
常勤役員	県派遣職員	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	県職員OB	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	民間からの役員	— 1	1 1	1 0	1 0	1 0	1 0
	プロパー職員	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
小計①		— 1	1 1	1 0	1 0	1 0	1 0
常勤職員	県派遣職員	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	県職員OB	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	民間からの役員	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	プロパー職員	— 10	10 10	10 0	10 0	10 0	10 0
小計②		— 10	10 10	10 0	10 0	10 0	10 0
非常勤役員	県・市町村関係	— 2	2 2	2 0	2 0	2 0	2 0
	民間からの役員	— 2	2 2	2 0	2 0	2 0	2 0
	小計③	— 4	4 4	4 0	4 0	4 0	4 0
非常勤職員	県職員OB	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	その他の職員	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	小計④	— 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
臨時職員⑤		— 1	0 0	1 0	1 0	1 0	1 0
合計(①~⑤)		— 16	15 15	16 16	16 16	16 16	16 16

中期経営計画に対する所管課の意見	
基本方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動の強化については、地元市町及び県だけでなく、民間の各団体等とも幅広く連携した上で、計画性・戦略性のある営業活動を展開されたい。 ・内部管理については、今後、収支状況を踏まえつつ、役員報酬及び船員人件費の更なる削減が必要である。
具体的取組・指標の設定について	<ul style="list-style-type: none"> ・団体客・個人客の増加については、記載の目標値以上の結果が出るよう期待したい。特に、北海道新幹線開業は増客のチャンスであり、青森県・函館DC及び青森県サイクルツーリズム推進会議等の場を積極的に活用されたい。 ・船舶体験学習の利用増については、市町村にも協力を仰ぐなど連携を強化し、学校等への地道な働きかけをされたい。 ・県内外への情報発信強化については、SNS等を活用するなど、積極的に取り組まれたい。
定数管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤・非常勤役員、常勤職員数については現状維持であり、特に異論はないが、代表取締役社長以下の常勤陸員については、今後、より一層の業務の改善・効率化を図っていく必要がある。 ・H27年度以降に臨時職員を新たに雇う計画としているが、これに係る人件費以上の増収・成果を得るためにも、常勤陸員4名については、今後想定される①営業活動強化、②船内ガイド・物販活動等に係る業務も含め、週・月毎に行動予定表を作成するなど、計画的な業務遂行に留意されたい。
収支計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が着実に実行されるよう、社員、蟹田～脇野沢航路の活性化に関する検討会及び取引金融機関とも十分に情報共有を図られたい。そのためにも、これまで以上に代表取締役社長の強力なリーダーシップが求められる。 ・なお、収支安定化のための、冬期間の雇用(副収入)の確保について、社内での十分な議論を経て、速やかに打開策を見出されたい。 ・また、今後、船舶更新を検討する段階に至った場合は、必要に応じて期間内での修正・見直しを行うことに留意されたい。

所管課の方針	
今後の県としての関与について	<ul style="list-style-type: none"> ・収入増に向けては、県が事務局となっているむつ湾内航路活性化推進会議や蟹田～脇野沢航路の活性化に関する検討会の場を活用して提案・助言していくほか、具体的な取組としては、旅行エージェント訪問や県内小中学校へのPR等において、県も一体となって行動するなど、積極的に支援していく。 ・経費節減の面から、引き続き支出項目をチェックしていく。 ・収支計画及び資金繰り等について、定期的の実績報告及び計画との乖離についての分析を求め、取引金融機関とも連携しながら、中期経営計画の進行管理を徹底していく。